

講師プロフィール

<p>池内美奈子 ① ⑪</p>  <p>俳優指導者アソシエーション代表、 新国立劇場演劇研修所ヘッドコーチ</p> <p>文化庁芸術家在外研修員としてロンドンのセントラル校ヴォイス・コースで学び、ヴォイス学修士取得。日本語&英語のヴォイス・コーチ。パナソニック社長の2013年CESキーノートスピーチのコーチングを手がける。</p>	<p>中村格子 ②</p>  <p>国立スポーツ科学センター医学研究部研究員、 医学博士、スポーツ整形外科医</p> <p>JOC医学サポート部会員。JOC強化スタッフ。各種競技のトップアスリートをはじめとして一般まで理論に基づいたわかりやすい指導に定評がある。主な著書に「女医が教えるマジカルエクササイズ」(すばる舎)など。</p>	<p>井上朱実 ③ ⑩ パネリスト</p>  <p>スタジオナチュラルフロー代表、 ジャイロキネシス/ジャイロニック・ マスタートレーナー</p> <p>運動指導のキャリアを重ねる中、“ダンス”に関心をもちジャイロキネシスに出会う。「結果の出るエクササイズ」であることを実感し、指導に取り入れる。考案者ジュリュウ・ホバズ氏に師事。指導者育成も行う。</p>
<p>橋本佳子 ④</p>  <p>ボディワークス主宰、 新国立劇場オペラ・演劇・バレエ研修所講師</p> <p>英国ロイヤルバレエ学校留学。文化庁芸術家在外研修員としてバレエダンサーの身体管理を目的にピラティスベース技法を研修。90年、ボディコンディショニングスタジオ「ボディワークス」設立、指導に当たる。</p>	<p>鵜沼宏樹 ⑤</p>  <p>統合鍼灸治療院 元気 院長、 帯津三敬塾クリニック気功講師、 世界医学気功学会理事</p> <p>北京中医学院卒業。帰国後国家資格を取得。帯津三敬病院 中国室長としてがん、難病の治療にあたる。2006年に開院。著書に「医療気功」(春秋社)「元氣になれるとっておきのツボ療法」(婦人之友社)他多数。</p>	<p>勝川史憲 ⑥ ⑨ パネリスト</p>  <p>慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター教授</p> <p>1985年慶應義塾大学医学部卒業。内科学教室を経て、1992年より大学スポーツ医学研究センター。専門は、若年成人の肥満、メタボリックシンドロームの運動・食事療法。芸術関係では学生時代よりダンス、演劇に親しむ。</p>
<p>澤田美砂子 ⑦</p>  <p>日本女子大学 家政学部児童学教科講師</p> <p>お茶の水女子大学舞踊教育学科卒業。東京工業大学大学院博士課程修了。博士(学術)。バレエダンサーの心理的側面に関する研究に携わる。昭和音楽大学では「舞踊心理学」の担当者としてメンタルトレーニング等の指導も行う。</p>	<p>蔭山陽太 ⑧</p>  <p>KAAT神奈川芸術劇場支配人、 神奈川県民ホール副館長</p> <p>90年「俳優座劇場」、96年「文学座」演劇制作部(のち企画事業部部長)にて企画制作、劇場運営に携わる。96年文化庁在外研修員(ロンドン)。2006年「まつもと市民芸術館」プロデュース兼支配人。2010年4月より現職。</p>	<p>タニノクロウ ⑨ パネリスト</p>  <p>庭劇団ベニノ主宰、 劇作家・演出家</p> <p>1976年富山県出身。2000年、昭和大学医学部在学中に同大学演劇部のメンバーと庭劇団ベニノを旗揚げ。「笑顔の誓」(07年)、「星影のJr.」(08年)が、2年連続で岸田國土戯曲賞最終候補にノミネートされる。</p>
<p>西川信廣 ⑨ パネリスト</p>  <p>演出家/文学座所属、 公益社団法人日本劇団協議会会長、 日本演出者協会理事</p> <p>文学座附属演劇研究所16期、81年卒業となる。84年文学座初演出以来、商業演劇から小劇場まで幅広く活動。芸術選奨文部大臣新人賞他、数多く受賞。86年、文化庁派遣芸術家在外研修員(イギリス)。東京藝大客員教授。</p>	<p>久野敦子 ⑨ ファシリテーター</p>  <p>公益財団法人セゾン文化財団 プログラム・ディレクター</p> <p>多目的スペースのプログラム・コーディネーターを経て、93年セゾン文化財団に入団、96年より現職。現代演劇・舞踊を対象にした助成プログラムや自主制作事業の企画・運営を担当。舞台芸術のための様々な支援策に関わる。</p>	<p>楠原竜也 ⑩ パネリスト</p>  <p>コンテンポラリーダンサー・振付家</p> <p>玉川大学文学部芸術学卒業後、国内外で創作・公演活動を行う。2008年文化庁新進芸術家海外留学研修員(イタリア)。「旅とあいつとお姫さま」には俳優として5年連続出演。法政大学、女子美術大学、玉川大学非常勤講師。</p>
<p>瀬尾理利子 ⑩ パネリスト</p>  <p>横浜市スポーツ医学センター、 整形外科医・スポーツドクター</p> <p>医学博士。日本赤十字医療センター、国立スポーツ科学センター(JISS)等を経て2008年より現職。JISSでは国際大会の帯同を経験し、新体操等の選手の障害予防に関わった。日本レスリング協会医科学サポート部会員。</p>	<p>松田現 ⑩ パネリスト</p>  <p>PNF研究所所長、 国際PNF協会認定インストラクター、 理学療法士</p> <p>社会医学技術学院卒業、立教大学大学院修士課程修了(教育学修士)。現在、PNFを用いて治療やコンディショニングを行う傍ら、日本で4人、世界で70余名の国際インストラクターの一人として後進の指導にあたる。</p>	<p>水村(久埜)真由美 ⑩ ファシリテーター</p>  <p>お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科准教授</p> <p>東京大学大学院博士課程修了、博士(教育学)。大学にて運動科学全般を教授。元谷桃子バレエ団所属。芸術家のくすり箱理事。日本ダンス医学科学研究会代表。著書に「ダンサーなら知っておきたい「トレーニング」のこと」(大修館書店)など。</p>
<p>半谷美夏 ⑫</p>  <p>国立スポーツ科学センターメディカルセンター、 整形外科専門医</p> <p>医学博士。日本水泳連盟医事委員。水泳選手をはじめとした、スポーツ選手の全般的な外傷・障害の診療を行う中、腰椎椎間板ヘルニアなどの脊椎疾患の診療や研究を行っている。</p>	<p>岸昌代 ⑬</p>  <p>《パフォーマンス 食サポート》主宰、 管理栄養士・健康運動指導士</p> <p>日本女子体育大学大学院スポーツ科学修士。東京栄養食糧専門学校教員。日本ダンススポーツ連盟、東京都医 科学サポート栄養スタッフ。ビジネスパーソンをはじめ、選手、ダンサー、芸術家へのサポートを行っている。</p>	<p>小滝昌彦 ⑭</p>  <p>PNF研究所大阪所長、 理学療法士</p> <p>国際PNF協会アシスタントインストラクター。バレエ、社交ダンス、フラメンコなど趣味レベルからトップレベルまで様々なダンサーや俳優等のコンディショニングサポートを行う。</p>

カスタマイズプログラムのご案内

芸術家のくすり箱では、「ヘルスケアセミナー」などの主催だけでなく、劇場・劇団・バレエ団・オーケストラ・協会等のみなさまの活動状況やニーズに応じたカスタマイズプログラムを提供しています。みなさんが参加しやすい時間帯やなじみのある場所で開催するカスタマイズ企画は、「芸術家のヘルスケア」を取り入れてパワーアップする第一歩。

「稽古場でやってほしい」

「イベントプログラムのひとつに取り入れたい」

など、さまざまなお要望にお応えします。

まずは芸術家のくすり箱事務局までご相談ください。

